

平成18年度 高冷地水稻生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月4日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	47.6 (92%)	648 (114%)	4.9 (-0.2)	38.7 (+0.1)	9.0 (-0.2)
	前年	51.3	597	4.9	38.4	9.9
	平年	52.0	567	5.1	38.6	9.2
コシヒカリ	本年	52.7 (92%)	617 (107%)	4.9 (-0.3)	38.1 (-1.7)	9.1 (-0.4)
	前年	57.1	515	5.0	39.8	9.6
	平年	57.0	577	5.2	39.8	9.5
たかやまもち	本年	55.4 (101%)	593 (115%)	5.0 (-0.2)	41.9 (+2.8)	9.0 (-0.5)
	前年	53.3	440	5.1	41.8	9.6
	平年	54.8	515	5.2	39.1	9.5
ひだほまれ	本年	54.8 (96%)	406 (89%)	5.0 (+0.1)	39.5 (+1.1)	9.4 (-0.3)
	前年	62.3	515	5.0	39.9	10.2
	平年	56.8	454	4.9	38.4	9.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

草丈は、「たかやまもち」と「ひだほまれ」でほぼ平年並み、「ひとめぼれ」及び「コシヒカリ」では平年より短めとなっている。

茎数は、「ひだほまれ」で平年より少ないが、他の品種は平年より多くなっている。「たかやまもち」及び「ひだほまれ」では、前回より茎数が減少しているため、最高分けつ期を経過したと思われる。

葉色は、葉色板では「ひだほまれ」を除き平年よりやや淡くなっている。SPAD値では「コシヒカリ」のみ平年より値が低い。いずれの品種も前回よりSPAD値が低下しており、葉色が褪め始めたと思われる。

葉齡は、いずれの品種も平年よりやや遅れている。

2) 病害虫等の発生状況

「イネツトムシ」は、幼虫の成長に伴い“つと”が目立つようになったが数は多くない。「イネドロオウムシ」が発生し始め、葉を食害している。また、「セジロウンカ(夏ウンカ)」が飛来し、成虫が散見される。

「葉いもち」の発生は無いが、今後の天候により注意する必要がある。

3) 今後の管理

所内の極早生品種は、すでに幼穂長が2cm程になっている(5月10日植「飛系76号」)。穂肥を間近に控えているので、しっかりと穂肥を施用できる稲体を確保したい。

中干しをしていない場合は、すぐに実施する。中干し後は、間断灌水で根の健全を維持する。また、「けい酸加里」を10aあたり30kg施用し、病気に強くしっかりとした稲体をつくること。

<参考> 前回調査時(6月27日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	40.3 (95%)	613 (115%)	4.9 (-0.2)	40.9 (+1.0)	8.1 (-0.4)
	前年	39.7	599	4.8	38.1	9.2
	平年	42.2	535	5.1	39.9	8.5
コシヒカリ	本年	43.9 (98%)	599 (109%)	5.0 (-0.2)	41.0 (+0.9)	8.2 (-0.5)
	前年	41.9	508	5.2	40.2	8.9
	平年	44.8	548	5.2	40.1	8.7
たかやまもち	本年	45.7 (102%)	635 (127%)	4.8 (-0.3)	41.8 (+2.1)	8.0 (-0.7)
	前年	38.9	384	5.0	40.1	8.8
	平年	44.7	501	5.1	39.7	8.7
ひだほまれ	本年	46.4 (101%)	417 (94%)	4.9 (+0.0)	40.4 (+1.7)	8.3 (-0.6)
	前年	47.1	513	4.8	40.5	9.4
	平年	45.8	445	4.9	38.7	8.9

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>